

# 松山まちなか瓦版

もと  
きつ

NO. 15

発行 / 松山市中心市街地活性化協議会  
■松山商工会議所 TEL 089(941)4111  
■まちづくり松山 TEL 089(998)3533  
発行日 / 2013年11月30日

きつ

まちを好きになる!まちが近くなる!

## まちゼミがはじまりました!



この秋、中央部の商店街において新しい事業がスタートしました。その名も「まちゼミ」。「まちゼミ???」っていう人も多いかもしれません、この新事業、一見、シンプルですが、しかし、よくよく調べてみると、じわっと「まち」に浸透し、気がつくと「まち」に人が集まってるという…そんな魅力的な事業です。さて、さて、「まちゼミ」とは一体どんなものなのか?紹介しましょう。

### 「まちゼミ」とはなんぞや?

『まちゼミ』とは、普段、まちで商売をする店主や店員さんたちが講師となり、それぞれの商売のあれこれをネタにしたプロならではの専門的な知識や情報、コツなどを無料で受講者にお伝えする少人数制のゼミのことです。

『まちゼミ』は、愛知県岡崎市で平成14年に始まりました。当時、他の中心市街地と同様に空洞化が進み、元気をなくしていた岡崎のまち、賑やかだったまちをもう一度取り戻そうとさまざまな集客イベントが行われていました。しかし、イベントの時は大勢の人が集まても、普段の街は閑散としたまま、本当にこのまでいいの?イベントの運営に忙しく動けば動くほど、そんな疑問や不安が頭を過ぎる毎日でした。そんな中、スタートを切ったのが『まちゼミ』でした。

### お客様・店・商店街 それぞれにメリットのある三方よしの事業

『まちゼミ』開催時には商品販売は行いません。お客様とのコミュニケーションを第一に、信頼関係づくりに徹することをルールとしています。お客様にとっては、無料で店や商品の情報、専門知識を得ることができ、店側は、自店のウリや商品に対するこだわりをお客様に伝えることを通して新規顧客やファンづくりのすることができます。また、商店街にとって地域に賑わいが生まれ、地元の人に愛されるまちになる。『まちゼミ』は年に一回のイベントとは異なり、期間を設定して繰り返し

行われます。中には2回、3回と参加してくださるお客様もいて、その輪がじわじわと広がっていく様子に感激する店主さんもいるとか…。お客様、店、まちの三者にとってメリットとなるまさに"三方よし"の事業なのです。



### 我がまちにも『まちゼミ』がやって来た~!!!

そんな『まちゼミ』を松山でも開催しよう!と商店街の若手メンバーが実行委員会を組織されました。また、岡崎まちゼミの会代表の松井洋一郎さんを講師にお招きし勉強会を重ね、9月21日から10月13日までの3週間、16店舗が参加して、松山ではじめての『まちゼミ』が開催されました。



▲第1回勉強会での松井さん  
「みんなで協力して、『まちゼミ』を実行するとこができるれば、必ず成果が付いてくる」という松井さんの言葉に背中を押されました。

### これぞ松山の『まちゼミ』 日切焼を堪能する!



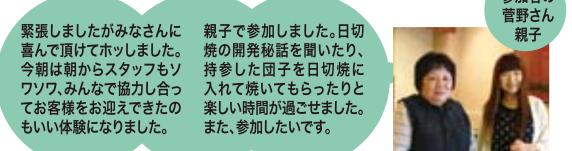
▲テーブルに並ぶ日切焼  
所狭しと並んだ日切焼き。種類の多さにびっくり!!食べきれなかった分はお土産に頂いて帰りました。

10月2日(水)の午後、日切焼でお馴染みの澤井本舗2階の喫茶ルームで「あなたの好みの日切焼はどの味?」と題した『まちゼミ』が開催されました。テーブルには、メモのついた日切焼がズラッと並んでいます。普段、店では販売されないネット販売のみの商品や季節限定のあん約15種類を食べ比べてみようという企画です。

「普段は聞けないお客様の声が聞けてよかったです。自らの商品を見直すきっかけにもなった」とは店主・澤井さんの感想。受講生であるお客様からは「これまで知らなかった日切焼の秘密を知って、ますます好きになりました」という感想を頂きました。店主とお客様が日切焼を中心に楽しい時間を共有したこの日は、日切焼というまちの宝物を再確認した、そんな有意義な時間にもなったようです。



澤井本舗の  
澤井さん



親子で参加しました。日切焼の開発秘話を探したり、持参した団子を日切焼に入れて焼いてもらったりと楽しい時間が過ぎました。また、参加したいです。

参加者の  
菅野さん  
親子

ばかされるのも悪くない!!



# 狸が闊歩する街・まつやま

「松山銀天街・大街道商店街振興組合と札幌狸小路商店街振興組合が狸が取り持つ縁で姉妹商店街の覚え書きを取り交わした」というニュースは耳にした人も多いはず!しかし、その狸が取り持つ縁とはどんな縁か?と聞かれると答えられる人は少ないのでないでしょうか?松山人なら知つて当然???のハズの「まつやま狸ばなし」を紹介しましょう。

若殿が狸寝入りの寒子規



## 四国の山は狸天国!?

みなさんは狸と聞いて何か思い出すことがありますか?狸ねえ、動物園でもそんな気にとめることもないなあ…。かくいう私もその一人なのですが…。しかし今回、松山と狸について調べてみると、あるわあるわ、狸にまつわるお話しの数々。

さて、四国・松山では、日本三大狸話の一つに数えられる松山藩のお家騒動がモチーフとなった『八百八狸物語』や一番町から道後にかけて列車が走り始めた頃に、列車に化けて通行人を驚かせたという『毘沙門狸』の話など、街のあちこちに狸が出没し民間信仰として根付いてきました。



## 松山一の美人たぬき「お袖狸」

そんな狸の中に松山一の美人との誉れ高い「お袖」という狸がいました。お袖は、はじめお城山に住んでいましたが退屈で街へ降りてきました。ある日、目の前で倒れた老婆を介抱し、すっかりよくなつた老婆が、お陰様とお参りをするようになりました。そんな噂はたちまち広がり、お袖の住処はあつという間に、参拝の人で賑やかに…。その住処が現在の市役所前交差点にある「八股榎大明神」と言われています。赤い鳥居のお社といえば、みなさん、見覚えがありますよね?



八股榎大明神▶  
中に入るといました!  
お袖さん?



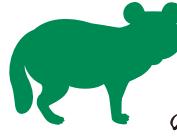
松山中央商店街連合会と  
札幌市の狸小路商店街の姉妹提携記念イベント

## 秋の収穫祭 in 大街道 が開催されました。

真狸と狸平の間に双子の赤ちゃん誕生!

大街道、銀天街など4つの商店街でつくる松山中央商店街連合会と札幌市の狸小路商店街の姉妹提携記念イベント「秋の収穫祭in大街道」が10月12日(土)・13日(日)大街道で開催されました。会場にはジャガイモやトウモロコシ、昆布など北海道の特産品が並び、新鮮な旬の品を買い求めるお客様で賑わいました。

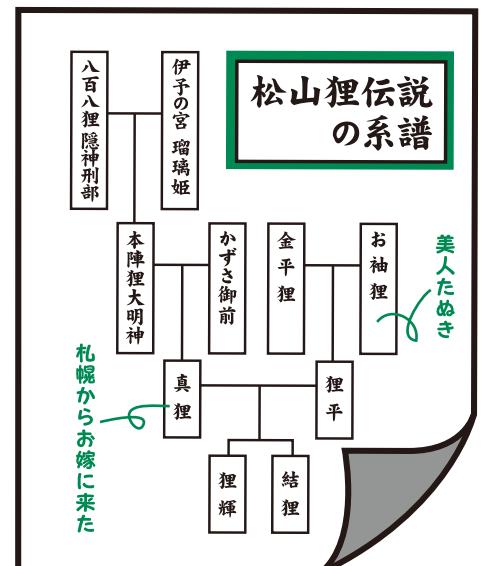
この日はもう一つ大切なセレモニーが行われました。姉妹提携が交わされた際に札幌から松山へお嫁入りしてきた「真狸(まり)」と「狸平(りへい)」の間に生まれた男女の双子の命名式です。



## 松山人の洒落っ気が満載!

その後お袖は、学問好きで優しいと評判の荏原の「金平狸」と結婚。美人のお袖と賢い金平との間に「狸平」が誕生します。そうです、この狸平こそが平成13年に観光物産展で札幌を訪れていた当時の中村時広松山市長のよびかけで、松山と札幌が姉妹商店街となった際に札幌から「真狸」をお嫁さんにもらった狸なのです。この話、実はもっと込み入っていて、「真狸」の父方の出里は松山だというですから、もう、松山の狸の勢力たるや大変なことなのですが、これ以前の話は頭がこんがらがつてしまつますので割愛させて頂きます。

さて、こんな話をしていますと、これは一体、誰の話なのか?夢か現か?という気になってきます。まるで本当にあったように話をしていますが、これらはトッポ話(滑稽話)と言われる民話の一つですから、その点はくれぐれもお間違いないように。人がいたり、いたずら者がいたりと、当時の民衆が、身近な人を狸になぞらえて楽しんでいたのでしょうか、松山人の洒落っ気が伝わってくるような気もします。そんな「狸平」と「真狸」の間に先日、男女の双子が生まれたとか…。またまだ、この話、先が続くようです。



女の子は先の狸小路商店街140周年記念式典でお披露目された「結狸(ゆり)」ちゃん、そして男の子が今回、松山市在住の保育士・児玉愛さんによって名付けられた「狸輝(りき)」くんです。狸ファミリーも家族が増えて、一層賑やかになりました。松山と札幌の二つの商店街も狸ファミリーにあやかり、ますます元気に賑やかになりますように!



▲「狸輝」と「結狸」の木彫りの子狸と一緒に名付け親・児玉さん  
久谷地区のみなさんが狸踊りを披露してくださいました。



▲旬の味覚が勢揃い!大勢の買い物客で賑わいました。